

会議結果（要旨）

会 議 名	平成27年度第2回音更町介護保険事業等運営協議会
開 催 日 時	平成27年8月31日（月） 午後7時から午後8時
開 催 場 所	音更町保健センター 検診室
委 員 出 席 者	森川会長、田中委員、河田さえ子委員、河田稔委員、鷺北委員、恩田委員、向平委員、村中委員、藤川委員、林委員、伊藤委員、堀委員
事 務 局 出 席 者	古田保健福祉部長、谷川保健センター事務長、重松高齢者福祉課長、傅法高齢者福祉課参事、原尾保健課長補佐、前田高齢者福祉課主幹、渡辺高齢者福祉課主幹、背戸田介護保険係長、仁科高齢者福祉課主任
議 題 内 容	1 開会 2 議題 会議録署名委員の指名 3 報告第1号 平成26年度介護保険事業の状況について 4 報告第2号 平成26年度介護保険特別会計決算について 5 その他
会 議 資 料	なし
会 議 結 果	会議録署名委員の指名 鷺北委員、村中委員 報告第1号 事務局より報告 報告第2号 事務局より報告
出された主な意見等	○報告第1号 委 員：総合相談窓口委託先で年間に13件しかない原因と柳町と緑陽台に常設している理由は。 事務局：介護保険制度が始まる前の在宅介護支援センターが前身であり、町民に浸透していない。今年度は基本チェックリストを回収するための個別訪問で、周知を図っている。 委 員：高齢者虐待の内、身体拘束について町の考え方は。 事務局：身体拘束については施設によって対応が異なるが、個別の状況判断が必要で、身体拘束＝虐待という判断はしていない。 委 員：家族介護者交流会事業はどのように実施しているか。 事務局：要介護4又は5の人を在宅で介護している家族を1日バス旅行に誘ってリフレッシュしてもらう事業で、社会福祉協議会に委託し実施している。 ○報告第2号 委 員：決算を見て、傾向は怎么样了。 事務局：高齢化率と利用率ともに上がっているのので、給付費は増加している。全国と比較すると、高齢者人口は平均より低く、サービス利用率は全国並みとなっている。

様式 4

	<p>委員：要支援のサービスを介護保険から外し、ボランティアで対応しようとしているが、町の認識は。</p> <p>事務局：音更町では当初、28年度中の移行を予定していたが、財政支援を有利に受けられることから、27年度中の移行を模索している。ボランティアポイント制度もあるが、ボランティアをすることで自身の健康や生き甲斐にも繋がることを周知し、協議体やコーディネーターが中心となって地域作りが進んでいくような仕組み作りを考えている。</p> <p>委員：自治体で受けるメリットは。</p> <p>事務局：財政面でのメリットがあり、移行が早いほど効果は大きい。</p>
お問い合わせ先	<p>保健福祉部地域包括支援センター高齢者福祉課介護保険係 (0155-32-4567)</p>

町ホームページへの掲載	掲載日（平成27年10月2日）
-------------	-----------------